

防災会報 2019

(一社)田川地区防災協会

No.45

- 発行一般社団法人 田川地区防災協会
- 発行人 二場 浩隆
- 印刷 有溝口印刷所 ☎42-2091

毎月1日は
防災の日です



(一社)田川地区防災協会シンボルマーク



● 平成30年度 全国統一防火標語
忘れてない? サイフにスマホに火の確認
この一球届け 無事故へみんなの願い

平成30年度

田川地区消防本部 防災作品

消防長賞

添田町立添田中学校3年

八野 葵さん

主な
記載記事

定時総会	3
火災と救急の概要	4
実施した防災事業	5

平成31年1月



一般社団法人
田川地区防災協会
会長 二場 浩隆

輝かしい平成31年の新春を迎え、常日頃から地域の安心・安全を守るために多大なるご尽力をいただいております、一般社団法人田川地区防災協会員の皆様と関係各位様に、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

ご承知のとおり、近年、全国では、

大きな被害を伴う自然災害が毎年の

よう頻発しています。平成30年9

月6日に発生した「北海道胆振東部

地震」では、過去、兵庫県南部地震、

新潟中越地震、東北地方太平洋沖地

震、熊本地震に次いで観測史上5番

目となる震度7を記録するなど、多

数の方が犠牲となる痛ましい出来事

がありました。更に、西日本豪雨や、

台風21号が猛威を振るい、四国、関

西、特に大阪では、強風豪雨で多大

な被害が発生しました。幸いにも、

しましては、設立当初から自主防災

組織として、「自分たちの地域や職場は自分たちで守る。」という理念のもと、災害が発生した際には関係団体と連携を図りながら、積極的に応急対策活動に参加する所存でございます。

また、高齢者宅での防火診断や春季・秋季火災予防運動期間中の火災予防広報、「たがわ消防フェスタ」への協賛等各種事業を実施し、田川地区の防災体制の強化推進に取り組んでまいりました。

今後とも、田川地区消防本部・署

はもどより、各関係機関相互の融和

強調を図り、地域防災拠点としての

役割を果たせるよう防災力の向上に

積極的に取り組み、意識も新たに防

災活動を推進していくことを考えて

います。

最後になりますが、田川地区

住民の皆様をはじめ、関係各位の

方々のご健勝、ご多幸を祈念申

せていただきます。



田川地区消防本部
消防長 浦野 洋一郎

平成31年の新年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。一般社団法人田川地区防災協会の皆様には、常日頃から当組合に対しまして、多大なるご支援とご協力を賜り、この場をお借りいたしまして厚くお礼申し上げますとともに、地域住民をはじめ、各職場において、安全、安心な防災体制確立のため、日夜ご尽力いただいていることに感謝して、心から敬意を表する次第であります。

近年、全国では相次ぐ地震や火山の噴火、そして、集中豪雨による河川の氾濫や土砂災害など、大規模な自然災害が毎年発生しております。

このようないかなる災害が田川管内

で発生しましても、一般社団法人田

川地区防災協会、田川地区消防本部

及び消防署は勿論のこと、関係市町

村、各防災関係団体が、災害対応へ

の共通認識、共通目的のもと、万全

の体制を築き、大規模な防災訓練を継続実施して、各関係機関との関係強化を図っているところであります。また、昨年4月から構成市町村、市町村消防団、そして田川地区消防本部が合体し、「田川地区防災会議」を結成、防災体制の強化に取り組み、田川地域の安全・安心の確保の向上をめざします。これからは、「田川地区防災会議」を母体として、構成市町村、市町村消防団、そして消防本部、更に田川地区唯一の民間団体である一般社団法人田川地区防災協会が連携して地域防災力の強化を図り、地域住民の信頼と負託に、応えなければならぬと思います。

貴協会は、伝統ある歴史と「自分たちの地域や職場は自分たちで守

る。」の理念のもとに、数々の防災意

識の向上事業を展開されており、今

後とも「災害の無い街、田川・住み

やすい街、田川」の為にも、尚一層

のご尽力を頂きますようお願い申し

上げます。

終わりにあたり、一般社団法人田

川地区防災協会の益々のご発展と会

員皆様のご健康とご多幸をお祈りす

るとともに、消防行政への格別のご

支援とご協力ををお願い申し上げまし

て、挨拶いたします。

謹んで新年のお慶びを申し上げます



**平成30年度
一般社団法人田川地区防災協会定時総会**



●

総会

平成30年度の定時総会が、平成30年5月25日（金）ザ・ブリティッシュビルズにおいて開催されました。

平成29年度取支決算などの上程された議案はすべて議決されました。

また、議案審議に先立ち防災功労による表彰の授与も行われました。

● 優良危険物取扱者

三木 和則
(株)ナカハタセルフ後藤寺給油所

田中 瞳久
(国際工芸株)

松岡 圭介
(西鉄バス筑豊(株)田川支社)

広畑 美英
(株)リクアイン

● 優良消防設備士

中野 旭
(医)田中整形外科医院

永末 清文
(社福)福智会(特養)福智園

浦野 悟
(株)めん食

● 優良防火管理者

岡崎商事(有)
田川構内自動車(株)

角田 恭裕
(九石プロパンガス(株)田川営業所)

● 優良業務主任者

TTCフーズ(株)
(医)昌和会見立病院

(社福)望岳会(特養)望岳園

豊前川崎商工会議所

日本郵便(株)採銅所郵便局

田川液化石油ガス事業協同組合



事は次のとおりです。
(順不同敬称略)

□監事
津島 園田 均
山野 智士
(藤石油)
(株)ソシマ
(株)山野燃料

(平成30年中)

田川地区の火災・救急の概要

火災

平成30年中の火災件数は64件であり、昨年の74件と比較すると、10件減少しています。

火災による損害額は30,749千円で、前年と比べて728,594千円の減少となっています。

出火原因は、たき火が16件と最も多く、次いで、放火(疑い含む)が5件、たばこが4件となっています。

特にたき火、放火及びたばこによる火災は、毎年上位となっており、地域住民一人一人の防火意識の向上が求められています。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	総件数	たき火	放火 (疑い含む)	たばこ	ストーブ	電灯・電話等の配線	焼却炉	電気機器	電気装置	配線器具	火遊び	マッチ・ライター	取灰
合計	64	16	5	4	3	3	2	1	1	1	1	12	13

■火災の前年比較表

区分	平成29年中	平成30年中	増減
火 灾 件 数	74件	64件	△10件
焼損面積	2,055m ²	1,179m ²	△876m ²
建 物	133a	81a	△52a
林 野	40棟	28棟	△12棟
火 灾 世 帯	49世帯	15世帯	△34世帯
火 灾 者 数	89人	38人	△51人
死 者	2人	3人	1人
負 傷 者	3人	7人	4人
損 害 額	759,343 千円	30,749 千円	△728,594 千円
全火災の1件当りの損害額	10,261 千円	480 千円	△9,781 千円
建物火災・焼損面積	86m ²	49m ²	△37m ²
1件当たり 損害額	2,403千円	1,218千円	△1,185千円
1ヶ月当たりの火災件数	6.2件	5.3件	△0.9件
出動人員(延)	858人	705人	△153人
備考	平成30年中の火災件数及び損害額(内訳)		
	建 物	24 件	29,233千円
	林 野	6 件	0千円
	車両	2 件	72千円
	その他の (爆発)	32 件	1,444千円
		0 件	0千円

救急

■救急の前年比較表

区分	年			前 年 対 比			平成30年 救急出場別
	平成29年	平成30年	増減				
出 場 件 数	7,461	7,697	236				
救 急 件 数	6,898	7,023	125				
搬 送 人 員	6,953	7,082	129				
事 故 別	平成29年	平成30年	増減	構成率%	順位		
急 病	4,568	4,774	206	62.02%	1		
転 院	1,070	1,045	-25	13.58%	2		
一 般 負 傷	897	957	60	12.43%	3		
交 通 事 故	421	401	-20	5.21%	4		
そ の 他	384	379	-5	4.92%	5		
自 損 行 為	57	53	-4	0.69%	6		
労 働 災 害 事 故	25	34	9	0.44%	7		
加 害	17	22	5	0.29%	8		
運動競技事故	18	17	-1	0.22%	9		
水 難 事 故	3	7	4	0.09%	10		
火 灾	1	7	6	0.09%	11		
自然災害事故	0	1	1	0.01%	12		
一 日 平 均 件 数	20.4	21					

過去10年間の救急出場件数の推移は下表のとおりであります。

1日平均では、21件の出場件数になっています。



当協会では、秋季全国火災予防運動に併せて、高齢者宅の防火診断を行いました。防火診断では、ガスコンロや石油ストーブ等の火気の取り扱いや、寝室に住宅用火災警報器の設置並びにコンセントのタコ足配線等について点検を行いながら、世間話を交えて火災予防についての話をしました。

◆ 防火診断を実施

当協会では、毎年のように日本各地で地震、豪雨災害や火山噴火等の自然災害が多く発生していることを受け、当協会から防災グッズ（非常持出袋）を贈呈しました。

受講者は、次のとおりです。

日付	回数	名前
2月10日(土)	39名	
6月2日(土)	14名	
10月7日(日)	11名	

◆ 危険物取扱者試験準備講習会の実施

当協会では、毎年3回実施される危険物取扱者試験の受験者を対象とした試験準備講習会を実施しています。



平成30年中

実施した防災事業

災害の未然防止を図るために、消防機関と協力して本年も各種事業を実施しました。多くの人が安心して暮らせる田川を目指して、防災の輪を広げる活動を行っています。



◆ 役員視察研修

平成30年度の役員視察研修は、10月19日に実施し、13名の役員と消防長及び事務局3名が参加しました。

今年度は、北九州市若松区響町の北九州PCB廃棄物処理施設と、下関市消防防災学習館を視察しました。

北九州PCB廃棄物処理施設では、高圧トランクや高圧コンデンサンサPCB汚染物等の処理を行う工程を工場見学し、全てのPCBを平成33年度末までに処理する為、安全対策や処理の促進策の強化に取り組んでいます。

下関市消防防災学習館「火消鯨」は、いろいろな災害の模擬体験を通して子どもから大人まで楽しく学べる体験型学習施設で、自然災害等に対応する防災知識を再確認できる内容の模擬体験を行い、併設されている下関消防局の指令センターの見学を併せて行いました。

当協会では、毎年3回実施される危険物取扱者試験の受験者を対象とした試験準備講習会を実施しています。受講者は、次のとおりです。

◆ 火災予防運動を協賛 3月・11月

当協会では、春季及び秋季の火災予防運動の協賛を行なっています。

平成30年3月6日(火)田川市のサンリブ田川で伊田保育所(田川市)が、3月7日(水)糸田町の道の駅いとだで西保育所(糸田町)が

防災演奏を実施しました。保育園児は、大きな声で「防火の誓い」を行ない、火災予防を呼びかけました。その後、当協会から演奏に協力いたしました。

また、平成30年11月11日(日)田川郡大任町の道の駅おおとう桜街道にて「たがわ消防フェスタ」を、地域住民の皆様に防火・防災に対する関心を深めて頂き、より消防を身近に感じて頂くことを目的に「今日の体験を明日の経験に」をテーマとして実施しました。当協会はこの事業に協賛し、会長の開会宣言でフェス

タが始まり、千百人を超える来場者を会員が受付窓口で出迎え、リーフレットの配布等による火災予防啓発を行ないました。

お知らせ

平成31年度の各種資格取得試験及び講習会の予定をお知らせします。会場の都合により変更する場合があるため、事務局で確認して下さい。

● 危険物取扱者試験

第1回 平成31年6月下旬頃
【願書受付期間】
4月中旬から4月下旬まで

第2回 平成31年10月下旬頃
【願書受付期間】
8月中旬から9月上旬まで

第3回 平成31年10月下旬頃
【願書受付期間】
12月中旬から1月上旬まで

住宅用火災警報器は、
10年を安心に、とりカエル！
わが家と家族を守る基本です。
電話番号 0120-565-911
受付時間 月曜日～金曜日午前9時～午後5時(土曜日・日曜日・祝日休業)
フリーダイヤル

10年たったら、
とりカエル。
お家の火災警報器の話です。

住宅用火災警報器を取り付けましょう！

火災により発生する煙を自動的に感知し、逃げ遅れなどからの被害を無くすために、住宅用火災警報器の設置が義務づけられています。

田川地区の設置率は、全国平均よりも低いため、火災から大切な家族の命を守るために設置を心がけましょう！

また、電池の寿命は10年が目安です。

電池が切れた警報器は、新しい住宅用火災警報器に取り換えてください。

なお、消防職員を装っての販売や、高額請求などの悪質な訪問販売の被害が発生しています。

消防職員による販売や、消防署が特定業者による販売を依頼することはありません。

市の福岡県立大学が会場になります。

● 消防設備士試験

第1回 福岡市・田川市
平成31年7月中旬頃

第2回 北九州市
平成31年7月下旬頃

第3回 福岡市・田川市
平成31年12月中旬頃

年以内。ただし③に該当する方は③による。
過去2年以内に免状の交付又は受講した日以後の最初の4月1日から3年以内。
※危険物取扱作業に従事している人は受講の必要はありません。

● 消防設備士法定講習

平成31年10月～12月(未定)

筑豊地区会場は、飯塚市を予定
消防本部を予定しています。

受講者は、いずれかの日に3時間の受講が必要です。危険物取扱作業に従事している次のような人が受講対象となります。

①継続して危険物取扱作業に従事している方は、前回の講習を受けた日以後の最初の4月1日から3年以内。

②新たに又は再び従事することとなつた日から1年以内の人

● 防火管理講習会

消防法により建物の所有者などの管理原者は、火災から人命を守るために防火管理者を定め、防火管理業務を行わせなければなりません。

この防火管理者の資格は、2日間の講習を受けることにより取得できます。

● 田川地区消防本部

① 田川地区消防本部
平成31年6月中旬頃
② イイヅカ
平成31年6月中旬頃
③ 直方市中央公民館
平成31年2月30日～7月31日

一般社団法人
田川地区防災協会
へのお問合せ

事務局 田川市大字川宮1570番地
田川地区消防本部予防課内
☎0947-44-0650 (内線132)
☎0947-44-6256 (直通電話)

編集後記

会員の皆様、明けましておめでとうございます。
この会報も今回で第45号となりました。会報発行にあたり会員の皆様にご協力いただき、心よりお礼申し上げます。

本年もよろしくお願い致します。

事務局長 佐藤 和久 事務局 身吉 正光
事務局 野澤 友宏 事務局 松岡 悠介
事務局 浦川えみ子

